

# みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2000/06/22 Vol. 37 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362  
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

## 印西市議会/平成 12 年第 2 回定例会報告 (2)

いつもお世話になっております。印西市議会(6月定例会)は、14日(水曜日)で閉会となりました。今回も6月定例会の報告を行っていききたいと思います。

6/5(月曜日)に、個人質問に立ちました。以下、市当局の回答です。

### 2)「牧の原駅圏の住環境整備について」

#### (1) 郵便局の誘致について

郵便局の設置要件として、人口 8000 人、なおかつ近隣の郵便局より 800M 以上離れていること等、一定の基準があるが牧の原地区には基準は満たしているが郵便局はない。関東郵政局に確認したところ、ここ 4 年間は設置を希望する市、公団等からの要望もあがっていないとのこと。今後、市では住民の利益のためにどのように取り組んでいくのか。お尋ねします。

(回答/助役) 都市基盤整備に確認しましたところ、牧の原駅圏への特定郵便局誘致については、公団から関東郵政局に対し、特定郵便局進出の意向を打診中であるとのことであります。市としましても住民の利便性向上のためにも、今後とも誘致の働きかけを行って参りたいと思います。

(ぐんじとしのりからの再質問)

「がんばります」という回答では、「待てない」という住民の声があります。財政難で新郵便局設置は困難だという話しも知っています。しかし、特定郵便局は、「郵便局設置資金(建設費)」を郵政側ではなく、必要側で出せばいいのではないのでしょうか? 印西市内にある、特定郵便局の「局長会」に誘致に関しての話しを行ったことがあるか?

(回答/市民経済部長)

今後、働きかけをしていく。

(ぐんじとしのり/コメント)

質問に対する回答は驚くほど、拍子抜けしたものでしたが、今後、居住者の皆様と「郵便局誘致」にむけて、行動をしていきたいと思えます。

(今後も、「関東郵政局」や「郵政本省」、市内の局長会と話し合う機会もつくって参りますので、皆様からのコメントを心待ちにしております。)

御協力よろしく願い致します~コモディイダの脇ではなく、牧の原駅北口に「郵便局を」という声もございます。皆様の率直なご感想をいただければ幸いです。

### 2)「情報環境の充実について」

今回の私が6月議会で、この質問テーマ「情報環境の充実」をとりあげ、印西市の現況を聞いたのは、平成 11 年 10 月 19 日 内閣総理大臣が決定した「ミレニアム・プロジェクト」が発表され、この5月から事業が開始されているからです。- そのプロジェクトは、千年紀事業と呼ばれているもので、日本政府が官民共同で取り組む事業(そのなかに「教育の情報化」「電子政府」「情報通信 21 世紀計画」という「情報化」の柱があります)であるのは皆様、既にご存知の事と思えます。

今回、わたしは印西市における、この事業の現状認識を行い、今後の進めかたについての質問をさせていただきました。(今回から何回かにわけてご報告をまいります。)

**(質問)**

- (1) 現在、市役所、出張所、公民館、図書館等に何台コンピュータが設置され、ネットワークによる情報の共有化がどの程度すすんでいるのか？  
また、コンピュータを使用している日常業務に携わっている職員は何名いて、全職員に対する比率はどの程度か？

(回答/総務部長) 現在のコンピュータ設置台数ですが(印西市)全体で193台設置されております。その内訳は別館を含む市役所本庁が109台、出張所16台、公民館4台、図書館41台、文化ホール4台、保健センター5台、福祉センター等で14台となっており、人事管理、国民年金、市史編纂など単独で運用している20業務56台を除く137台は住民記録、税、財務会計、戸籍、図書、施設予約、健康管理、介護保健の各業務ごとにネットワークされております。また、コンピュータを使用して日常業務に携わっている職員数と全職員に対する比率についてですが、何らかのかたちで携わっている職員は全職員548名に対して381人おり、その比率は約70%となっております。

今回行った個人質問に対する答弁は不十分であると感じたため、再質問、再々質問を通じ、以下のような、市政に対する提言を行いました。(上記、回答は原文の通りです。)

- \* 民間企業・住民レベルにおいては、インターネット、CATV網の普及により、行政情報化による高度情報サービスを楽しむ素地が固まりつつあり、経済活動においても電子媒体を介した電子商取引が急速に普及しつつある。今後、印西市でも、こうした住民、民間の急激な情報化に遅れることなく、文書の電子化等、早急な対応が求められていると思う。
- \* このようなことを踏まえると、行政情報化の遅れは、単に印西市だけの問題ではなく、民間活動、住民生活の高度化を阻害する側面ももっているため、市庁舎内ではコンピュータ知識の習得を推奨して欲しい。

**「ニュータウン等対策特別委員会」が開催されました**

6/8〔木曜日〕に、委員会が開催され、「北総公団線の現状について」北総開発鉄道株式会社より説明をお聞きしました。その内容としては、会社の経営状況と輸送状況について、旅客誘致対策の取り組みについてなどです。

〔一例として定期/定期外の比率を提示させていただきます。〕

- \* 定期・定期外比率

線名	種別	輸送人員	旅客収入
北総公団線	定期	73%	62%
(平成11年実績)	定期外	27%	38%
JR	定期	63%	20%
(平成10年実績)	定期外	37%	80%
大手民鉄	定期	64%	46%
(平成10年実績)	定期外	36%	54%

このことにより、北総公団線は一方通行の人の流れによるかなり非効率な運行をしていることがわかります。(説明にきてくれた方からもっと日中の利用をお願いしたいとのコメントをいただきました。)

次回以降、「経費節減の実績」「旅客誘致対策」について皆様にご報告をします。いつもご声援、ご支援ありがとうございます。市政への提言を心よりお待ち申し上げます。まだまだ勉強不足です。皆様と、牧の原の、印西市の将来を考えて参りたいと思います。今後ともご指導/ご支援よろしくお願い申し上げます。 ぐんじとしのり